

令和3年度第1回  
公立沖縄北部医療センター整備協議会

目次

	頁
1 全体スケジュール（現行） . . . . .	1
2 全体スケジュール（変更案） . . . . .	2
3 令和3年度スケジュール . . . . .	3
4 転籍意向調査 . . . . .	4
5 転籍意向調査様式（正職員用） . . . . .	6
6 転籍意向調査様式（非常勤職員用） . . . . .	10

令和3年6月2日

公立沖縄北部医療センター整備協議会

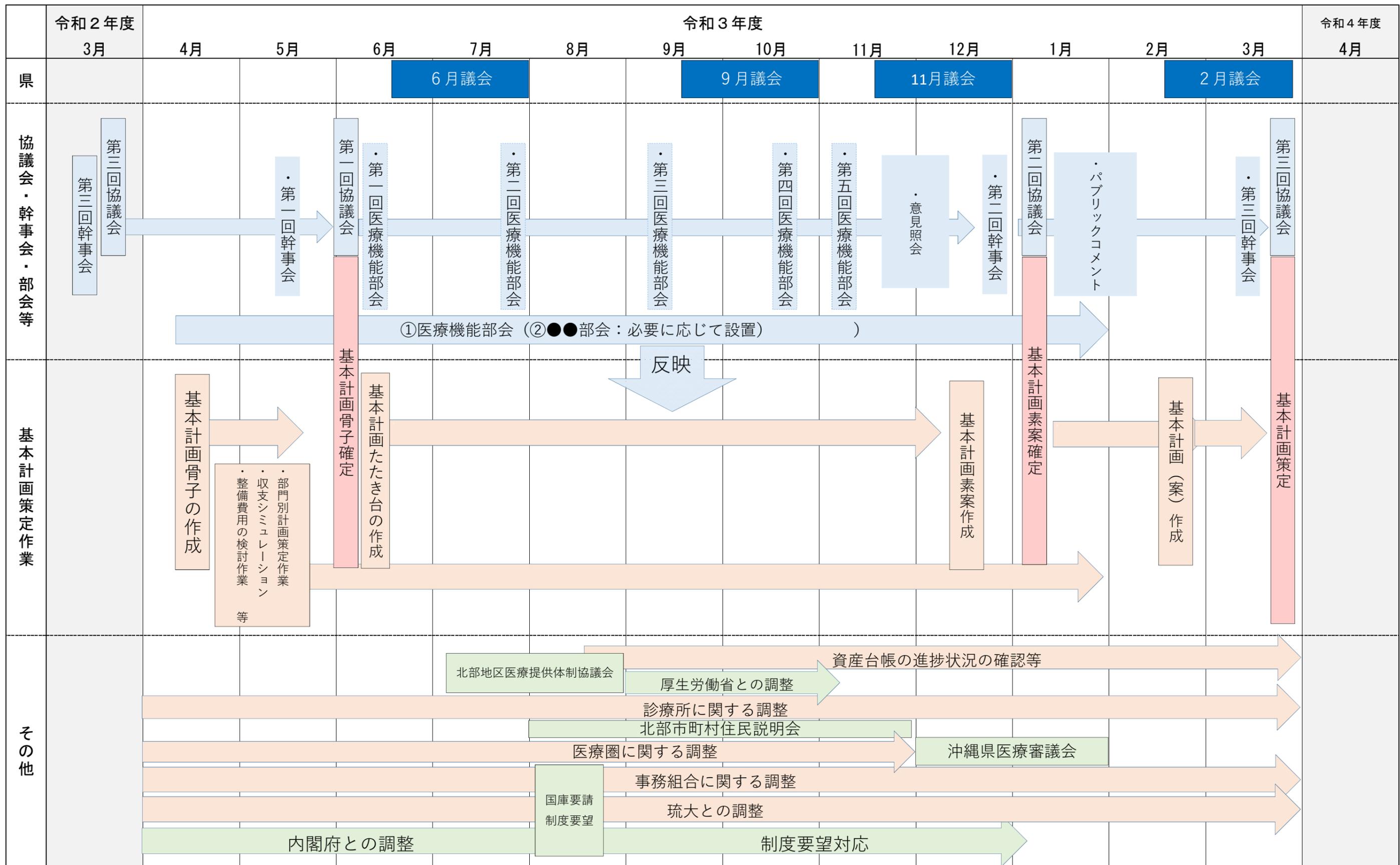
# 全体スケジュール（現行）

No	項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度			
1	基本的枠組みに関する協議	★7月合意								
2	整備協議会・幹事会（部会）	★9月設置	協議							
2-2	基本構想	基本構想								
2-3	基本計画		基本計画							
2-4	一部事務組合の設置		一組設置に向けた調整	一組設置						
2-5	財団法人の設立		財団設立に向けた調整			財団設立				
2-6	財政負担に関する事項	協議 構想・計画策定、一部事務組合・財団法人設立等 各項目の進捗に応じて時期を設定								
2-7	資産・負債、剰余金の取扱い									
2-8	職員の身分取扱い									
2-9	その他、両病院統合までの間に必要な取組など									
3	基本設計			基本設計						
4	実施設計				実施設計					
5	本体工事・外構工事				発注準備	本体・外構工事（2年）				

# 全体スケジュール（変更案）

No	項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度			
1	基本的枠組みに関する協議	★7月合意								
2	整備協議会・幹事会（部会）	★9月 設置	協議							
2-2	基本構想	基本 構想								
2-3	基本計画		基本計画							
2-4	一部事務組合の設置		一組設置 に向けた調整		一組 設置					
2-5	財団法人の設立		財団設立に向けた調整			財団 設立				
2-6	財政負担に関する事項	協議 構想・計画策定、一部事務組合・財団法人設立等 各項目の進捗に応じて時期を設定								
2-7	資産・負債、剰余金の取扱い									
2-8	職員の身分取扱い									
2-9	その他、両病院統合までの間に 必要な取組など									
3	基本設計			基本 設計						
4	実施設計				実施 設計					
5	本体工事・外構工事				発注 準備	本体・外構工事（2年）				

# 令和3年度整備協議会等開催スケジュール（変更）



# 公立沖縄北部医療センターでの勤務に関する 令和3年度意向調査



## ◆北部の2病院が統合されます！

県は、令和8年度の開院を目標に、  
県立北部病院と北部地区医師会病院  
を統合して「公立沖縄北部医療セン  
ター」を整備します。

※建設予定地は沖縄県立農業大学校  
移転後の敷地(名護市大北)。

職員の皆様の声をお聞かせください



沖縄県立北部病院  
病床数327床  
(稼働病床257床)



北部地区医師会病院  
病床数236床  
(稼働病床236床)

## 公立沖縄北部医療センター (名護市大北)

## ◆現時点のお考えで結構です！

- 本調査は、新病院での勤務について
- ✓ 職員の皆様の現時点での意向を確認し、人材確保の見込みや
  - ✓ 課題を洗い出すためのものです。

①沖縄県及び北部12市町村  
が設置する一部事務組合が  
病院を整備（設置者）

②沖縄県及び北部12市町村  
が設立する財団法人が病院  
を運営（指定管理）

沖縄県の北部医療圏で唯  
一の高度急性期・急性期  
病院

病床数450床程度  
高度急性期・急性期400床  
回復期48床  
感染症2床

※病床数は基本計画で定めます。

## ◆安心して率直なご回答をお願いします！

- ✓ 本調査は無記名です。
- ✓ 回答によって転籍、派遣、異動等が決まることはありません。
- ✓ 回答によって今後の人事に影響が出ることはありません。

※身分移行時期は令和8年度の開院時を想定しており、開院までに他県立病院を含めた複数回の意向調査や説明会、個別面談等を予定しています。

## ◆調査期間

# 令和3年6月1日(火) ~ 6月30日(水)

下記QRコードやURLからスマートフォンやパソコンでご回答いただけます。  
紙での回答を希望される場合、県立北部病院総務課または北部地区医師会  
病院人事課、もしくは下記問い合わせ先までご連絡ください。

医療機能の詳細とともに、労働条件等についても今後整理して参りますので、  
本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※公立沖縄北部医療センターの主な機能については、裏面をご覧ください。  
(QRコードリンク先ページでもご覧いただけます。)

## 意向調査サイトリンク



[https://www.pref.okinawa.lg.jp/  
site/hoken/iryoseisaku/  
r3ikoutyosa.html](https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/iryoseisaku/r3ikoutyosa.html)

## 「公立沖縄北部医療センター基本構想」 が策定されました

沖縄県ホーム > 組織で探す > 保健医療部 医療政策課  
> 公立沖縄北部医療センターの整備に向けた取組について

公立沖縄北部医療センター



問い合わせ

沖縄県保健医療部医療政策課

電話:098-866-2111

FAX:098-866-2714

公立沖縄北部医療センターの主な医療機能(「基本構想\*」より)

診療科目

内科、総合診療科、救急科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、リウマチ科、腎臓内科、感染症内科、**腫瘍内科(新設)**、内分泌代謝科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、精神科・心療内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線診断科、**放射線治療科(新設)**、病理診断科、リハビリテーション科、臨床検査科

病床数

※病床数は450床程度とし、病床機能別の病床数は、次の内容を基本に、今後、基本計画で具体的に定めます。

- 高度急性期・急性期病床 計400床程度  
《高度急性期の内訳》  
◎ICU・CCU 10床程度 ◎HCU 12床程度 ◎NICU 6床程度 ◎**GCU(新設)** 6床程度  
◎**地域救命救急センター(新設)** 10床程度
- 感染症病床 2床程度
- 回復期病床 48床程度

政策医療

- 地域救命救急センター(新設)** ■地域周産期母子医療センター ■**地域がん診療連携拠点病院(新設)** ■集中治療
- 小児医療 ■離島・へき地医療 ■第二種感染症指定医療機関 ■地域災害拠点病院 ■健康管理センター(健診・検診)

人材育成

- <医師>  
■**琉球大学病院地域医療教育センター(仮称)(新設)**(臨床研修、専門研修)  
■県内医療機関との人事交流、県外・国外の先進医療機関等での長期研修(留学) ■学術活動への支援
- <看護職>  
■大学・専門学校と連携した院内研修(講習) ■専門看護師・認定看護師の育成 ■特定行為研修の実施  
■看護師養成機関(看護学校等)への指導者としての派遣 ■学術活動への支援
- <薬剤師、その他医療技術員>  
■高度な薬物療法等に対応できる薬剤師の養成 ■資格取得・維持のための研修等の充実や支援 ■学術活動への支援
- <その他>  
■最新の医療機器・ICT機材 ■研修室 ■カンファレンスルーム ■医学図書室 ■オンライン講義が受講可能な講義室  
■臨床研修・専門研修の事務局 ■看護実習室

ワークライフバランスの充実、働き方改革への対応

- 医師クラーク・看護クラーク等の適切な配置 ■タスクシフト・タスクシェアの取組
- ICTやRPAの活用による診療・事務作業の補助
- 女性職員専用の仮眠室等の整備 ■育児休業等の休暇制度 ■院内保育所の整備
- 一定数の育児休業取得を前提とした職員数の確保

\*『公立沖縄北部医療センター基本構想』の全文は、沖縄県ホームページ「公立沖縄北部医療センターの整備に向けた取組について」(<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/hokubukikan/shincyoku.html>)をご覧ください。

【参考：「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書(令和2年7月28日)」抜粋】

(医師会病院の職員の身分取扱い)

第9条 統合する日の前日に医師会病院に在職している職員のうち北部医療センターでの勤務を希望する者は、原則としてそれぞれの雇用形態に応じた形で、財団の職員として雇用するものとする。

(県立北部病院の職員の身分取扱い)

第10条 統合する日の前日に県立北部病院に在職している職員のうち北部医療センターでの勤務を希望する者は、原則としてそれぞれの雇用形態に応じた形で、財団の職員として雇用するものとする。

(労働条件)

第11条 財団職員の給与、勤務時間その他の労働条件は、医師会病院の労働条件を適用するものとする。

(財団への職員派遣)

第17条 北部医療センターを運営する上で必要がある場合、県は、開院時から3年を限度として財団へ職員を派遣するものとする。

2 前項の期間は、北部医療センターの安定的な運営を確保するため、なお必要があると認められる場合には、延長するものとする。

## 公立沖縄北部医療センターでの勤務に関する意向調査

### 第1回 無記名式（正職員用）

注）正職員、専攻医・研修医、再任用(再雇用)職員、臨時的任用職員(県)は、この様式でご回答下さい。

公立沖縄北部医療センター整備協議会事務局

#### 《調査の目的（説明）》

##### ◆北部の2病院が統合されます！

県は、令和8年度の開院を目標に、県立北部病院と北部地区医師会病院を統合して「公立沖縄北部医療センター」を整備します。

※建設予定地は沖縄県立農業大学校移転後の敷地（名護市大北）。

##### ◆現時点のお考えで結構です！

本調査は、公立沖縄北部医療センターでの勤務について職員の皆様の現時点での意向を確認し、人材確保の見込みや課題を洗い出すためのものです。

##### ◆安心して率直なご回答をお願いします！

本調査は無記名です。回答によって転籍、派遣、異動等が決まることはなく、また、今後の人事に影響が出ることもありません。

※身分移行時期は令和8年度の開院時を想定しており、開院までに複数回の意向調査や説明会、個別面談等を予定しています。

##### ◆調査は毎年行います！

令和3年度の調査は、質問事項の妥当性や調査の流れを検証するため、県立北部病院と北部地区医師会病院で勤務する方のみを対象とします。令和4年度以降は、他の県立病院も加える方向で調整します。

公立沖縄北部医療センターの主な機能については、別添（参考資料）をご覧ください。医療機能の詳細とともに、労働条件等についても今後整理して参りますので、本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

下記の【基本事項】及び【質問事項】にご回答いただき、令和3年6月30日（水）までに県立北部病院総務課または北部地区医師会病院人事課に提出して下さい。

#### 【基本事項】

当てはまる□にチェック☑を入れ、記入欄には記載をお願いします。

- 所 属： □県立北部病院及び附属診療所      □北部地区医師会病院及び関連施設
- 採用区分： □正職員    □専攻医    □研修医    □再任用(再雇用)職員    □臨時的任用職員(県)
- 職 種： □医師                      □歯科医師                      □薬剤師                      □保健師
- 助産師                      □看護師                      □准看護師                      □臨床検査技師
- 診療放射線技師    □臨床工学技士                      □理学療法士                      □作業療法士

- 言語聴覚士      視能訓練士      管理栄養士・栄養士  
社会福祉士・MSW      介護福祉士      救急救命士  
保育士      診療情報管理士      一般事務職      医師クランク (MA)  
看護クランク      薬剤師補佐      施設管理技士      調理師・調理員  
看護補助員      リハビリ助手      運転士      その他(\_\_\_\_\_)

注) 複数の免許等を有している場合は、現在の主たる職務に応じてチェックを入れ、重複してチェックを入れないこと。

性別： 男 女

経験年数： 1～5年    6～10年    11～15年    16～20年    21～25年  
26～30年    31年以上

注) 現在の職種の職歴に応じてチェックを入れること(例：看護師として県立A病院で2年、民間B病院で5年勤務の場合、経験年数は7年)。なお、助産師・看護師はそれぞれ看護師・准看護師の職歴を加味してよく、診療情報管理士は一般事務職の職歴を加味してよい。

現住所： 北部(金武町及び恩納村以北)    中南部(うるま市及び読谷村以南)

資格等： \_\_\_\_\_ 注)任意記入。

(例：呼吸器専門医、専門看護師(がん看護)、細胞検査士など)

※職業と不可分の厚生労働大臣等による免許・登録資格・認定資格を除く。

診療科(現在の部署)： \_\_\_\_\_ 注)任意記入。

### 【質問事項】

当てはまるにチェックを入れ、記入欄には記載をお願いします。

**Q1. 公立沖縄北部医療センターでの勤務について、現時点でのあなたの意向を伺います。  
《いずれか1つを回答》。**

注1) ③～⑤は県職員のみが選択可能です。県は開院から3年間を限度として必要な職員を派遣しますが、その際、給与等は県の規程に基づき算定される額を支給します。

注2) ①大学医局の人事で派遣されている正職員医師、②専攻医・研修医、③再任用(再雇用)職員、④県の臨時的任用職員、⑤定年退職予定者のうち次年度以降再任用(再雇用/継続雇用)を希望される方は、開院直前まで継続して現在の所属で勤務したものと仮定してご回答下さい。

① 開院当初から公立沖縄北部医療センターに身分移行(転籍)する。

② 条件によって、開院当初から公立沖縄北部医療センターに身分移行(転籍)してよい。

③ 県職員の身分のまま開院から3年間を限度として公立沖縄北部医療センターで勤務してみて、身分移行(転籍)するかどうかを派遣期間中に検討する。

④ 県職員の身分のまま開院から3年間を限度として公立沖縄北部医療センターで勤務してもよいが、その後は他の県立病院で勤務する〔派遣は可だが転籍しない〕。

⑤ 公立沖縄北部医療センター開院後は他の県立病院で勤務し、公立沖縄北部医療センターでは勤務しない〔派遣も転籍も希望しない〕。

県のみ  
選択可

- ⑥ 公立沖縄北部医療センター開院後は他の民間病院等で勤務する。
- ⑦ その他 (※記入 \_\_\_\_\_ )

**Q2. Q1.で②、③を選択した方について。公立沖縄北部医療センターに身分移行（転籍）する条件のうち最も重視するものは何ですか。《3つまで回答可》**

- ① 給与等の処遇
- ② 休暇制度（育児休業、部分休業、病気休暇 等）、その他福利厚生制度
- ③ 専門性が発揮できる環境、適切な勤務時間、タスクシフト・タスクシェアなど働きやすい職場環境
- ④ 教育指導体制の充実、研修制度、学術活動や資格取得/維持ができる環境
- ⑤ 統合に伴う医療機能の高度化に対応する職員へのサポート体制
- ⑥ 保育・子育て・子の教育環境
- ⑦ その他 (※記入 \_\_\_\_\_ )

注)「タスクシフト・タスクシェア」…医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化

**Q3. Q1.で④、⑤、⑥を選択した方について。公立沖縄北部医療センターへの転籍を希望しない（または派遣を希望しない）理由のうち主なものは何ですか。《3つまで回答可》**

- ① 給与等の処遇への不安が大きい。
- ② 休暇制度（育児休業、部分休業、病気休暇 等）、その他福利厚生制度への不安が大きい。
- ③ 専門性の発揮、勤務時間、タスクシフト・タスクシェアの進捗など職場環境への不安が大きい。
- ④ 教育指導体制、研修制度、学術活動や資格取得/維持への不安が大きい。
- ⑤ 統合に伴う医療機能の高度化に対応できるか不安が大きい。
- ⑥ チームワークなど、両病院の組織文化の融合への不安が大きい。
- ⑦ 保育・子育て・子の教育環境への不安が大きい。
- ⑧ より高度な機能をもつ病院で専門的な医療に携わりたい。
- ⑨ 他の病院や診療所で慢性期医療や地域医療に携わりたい。
- ⑩ 家族等の生活の拠点が中南部にある。
- ⑪ 開院前に大学医局の人事による勤務先の変更が想定される。
- ⑫ その他 (※記入 \_\_\_\_\_ )

注)「タスクシフト・タスクシェア」…医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化

Q4. その他 県または公立沖縄北部医療センターへの要望・意見（提案）や、公立沖縄北部医療センター勤務時に取り組みたいことがあれば記載してください。 ※自由記載

## 公立沖縄北部医療センターでの勤務に関する意向調査

### 第1回 無記名式 (非常勤職員用)

注) 北部地区医師会病院の非常勤職員(再雇用を除く。)、県の会計年度任用職員(研修医・専攻医を除く。)は、この様式でご回答下さい。

公立沖縄北部医療センター整備協議会事務局

#### 《調査の目的(説明)》

##### ◆北部の2病院が統合されます！

県は、令和8年度の開院を目標に、県立北部病院と北部地区医師会病院を統合して「公立沖縄北部医療センター」を整備します。

※建設予定地は沖縄県立農業大学校移転後の敷地(名護市大北)。

##### ◆現時点のお考えで結構です！

本調査は、公立沖縄北部医療センターでの勤務について職員の皆様の現時点での意向を確認し、人材確保の見込みや課題を洗い出すためのものです。

##### ◆安心して率直なご回答をお願いします！

本調査は無記名です。回答によって転籍等が決まることはなく、また、今後の人事に影響が出ることもありません。

※身分移行時期は令和8年度の開院時を想定しており、開院までに複数回の意向調査や説明会、個別面談等を予定しています。

##### ◆調査は毎年行います！

令和3年度の調査は、質問事項の妥当性や調査の流れを検証するため、県立北部病院と北部地区医師会病院で勤務する方のみを対象とします。

公立沖縄北部医療センターの主な機能については、別添(参考資料)をご覧ください。医療機能の詳細とともに、労働条件等についても今後整理して参りますので、本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

下記の【基本事項】及び【質問事項】にご回答いただき、令和3年6月30日(水)までに県立北部病院総務課または北部地区医師会病院人事課に提出して下さい。

#### 【基本事項】

当てはまる□にチェック☑を入れ、記入欄には記載をお願いします。

- 所 属： □県立北部病院及び附属診療所      □北部地区医師会病院及び関連施設
- 職 種： □医師                      □歯科医師                      □薬剤師                      □保健師
- 助産師                      □看護師                      □准看護師                      □管理栄養士
- 社会福祉士                      □介護福祉士                      □救急救命士                      □歯科衛生士
- 保育士                      □診療情報管理士                      □医師クラーク                      □看護クラーク

- 事務補助      調理師・調理員    看護補助員      助手  
運転士          売店                  その他(\_\_\_\_\_)

注) 複数の免許等を有している場合は、現在の主たる職務に応じてチェックを入れ、重複してチェックを入れないこと。

性別： 男 女

経験年数： 1～5年    6～10年    11～15年    16～20年    21～25年  
26～30年    31年以上

注) 現在の職種の職歴に応じてチェックを入れること（例：看護師として県立A病院で2年、民間B病院で5年勤務の場合、経験年数は7年）。なお、助産師・看護師はそれぞれ看護師・准看護師の職歴を加味してよく、診療情報管理士は一般事務職の職歴を加味してよい。

現住所： 北部（金武町及び恩納村以北）    中南部（うるま市及び読谷村以南）

資格等： \_\_\_\_\_ 注)任意記入。

（例：呼吸器専門医、専門看護師（がん看護）、細胞検査士など）

※職業と不可分の厚生労働大臣等による免許・登録資格・認定資格を除く。

診療科（現在の部署）： \_\_\_\_\_ 注)任意記入。

### 【質問事項】

当てはまるにチェックを入れ、記入欄には記載をお願いします。

**Q1. 公立沖縄北部医療センターでの勤務について、現時点でのあなたの意向を伺います。  
《いずれか1つを回答》。**

- ① 開院当初から公立沖縄北部医療センターに身分移行（転籍）する。  
② 条件によって、開院当初から公立沖縄北部医療センターに身分移行（転籍）してよい。  
③ 公立沖縄北部医療センター開院後は他の民間病院等で勤務する。  
④ その他 (※記入 \_\_\_\_\_)

**Q2. Q1. で②を選択した方について。公立沖縄北部医療センターに身分移行（転籍）する条件のうち最も重視するものは何ですか。《3つまで回答可》**

- ① 給与等の処遇  
② 休暇制度（育児休業、部分休業、病気休暇等）、その他福利厚生制度  
③ 専門性が発揮できる環境、適切な勤務時間、タスクシフト・タスクシェアなど働きやすい職場環境  
④ 教育指導体制の充実、研修制度、学術活動や資格取得/維持ができる環境  
⑤ 統合に伴う医療機能の高度化に対応する職員へのサポート体制  
⑥ 保育・子育て・子の教育環境  
⑦ その他 (※記入 \_\_\_\_\_)

注) 「タスクシフト・タスクシェア」…医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化

**Q3. Q1. で③を選択した方について。公立沖縄北部医療センターへの転籍を希望しない理由のうち主なものは何ですか。《3つまで回答可》**

- ① 給与等の処遇への不安が大きい。
- ② 休暇制度（育児休業、部分休業、病気休暇 等）、その他福利厚生制度への不安が大きい。
- ③ 専門性の発揮、勤務時間、タスクシフト・タスクシェアの進捗など職場環境への不安が大きい。
- ④ 教育指導体制、研修制度、学術活動や資格取得/維持への不安が大きい。
- ⑤ 統合に伴う医療機能の高度化に対応できるか不安が大きい。
- ⑥ チームワークなど、両病院の組織文化の融合への不安が大きい。
- ⑦ 保育・子育て・子の教育環境への不安が大きい。
- ⑧ より高度な機能をもつ病院で専門的な医療に携わりたい。
- ⑨ 他の病院や診療所で慢性期医療や地域医療に携わりたい。
- ⑩ 家族等の生活の拠点が中南部にある。
- ⑪ 開院前に大学医局の人事による勤務先の変更が想定される。
- ⑫ その他 (※記入 \_\_\_\_\_)

注) 「タスクシフト・タスクシェア」…医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化

**Q4. その他 県または公立沖縄北部医療センターへの要望・意見（提案）や、公立沖縄北部医療センター勤務時に取り組みたいことがあれば記載してください。 ※自由記載**